

①“上智大生殺害”から 28 年を前に自宅の模型公開 小林順子さんが首刺され倒れていた和室など細かく再現 警視庁が情報提供呼びかけ

9/3(火) 10:00 配信

FNNプライムオンライン



殺害された当時上智大学 4 年生の小林順子さん

東京・葛飾区で女子大学生が刃物で殺害され、自宅が放火された事件が、発生から 28 年となるのを前に、警視庁は現場の模型などを公開し、情報提供を呼びかけました。

【画像】小林順子さんが殺害され放火された自宅の再現模型

この事件は 1996 年 9 月 9 日、上智大学 4 年生だった小林順子さん（当時 21 歳）が、葛飾区の自宅で首を刺されて殺害され、自宅が放火されたものです。

事件は未解決のままで、警視庁は 3 日、3D プリンターを使って作られた小林さんの自宅の模型を公開しました。

実際の自宅はすでに取り壊されていますが、模型では小林さんが倒れていた和室などが細かく再現されています。

またこの事件を巡っては、事件当日に現場近くでコートを着た身長 1 メートル 50 センチから 1 メートル 60 センチくらいの不審な男が目撃されており、警視庁は男のイラストが掲載されたポスターも改めて公開し、情報提供を呼びかけました。

（情報提供：警視庁亀有警察署 03-3607-0110）

② 文通した順子さん、留学前になぜ あの夏、英語習った教え子 上智大生殺害から28年

朝日デジタル

2024年9月4日 5時00分

小林順子さん(中央)から英語を教わる中学2年生の齋藤拓也さん(右)と丸山亮太さん(左)
= 齋藤さん提供



中学2年の夏休みだった。東京から来る大学生が英語を教えてくれる。学校の先生にこう誘われ、会社員の丸山亮太さん(45)は当時、5日間の「講義」に参加した。

毎夏、上智大学のサークルが新潟県を訪れ、中学生にボランティアで英語を教えているという。自分の班の担当は、順子さん。「まだ18歳という若者だから、先生なんて呼ばないでね」

自作のテキストに、きちょうめんな文字が並んでいた。ハスキーな声と、なめらかな英語の発音をよく覚えている。

みんなで英語劇を披露したり、カーペンターズの「トップ・オブ・ザ・ワールド」を歌ったり、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」を一緒に見たり。明るい順子さんの授業に夢中になり、5日間で英語を話すことが好きになった。少しずつ成績も上がり、学校の先生が驚いていた。

その秋、順子さんから授業の写真が同封された手紙が届いた。返事を書くと、また手紙が来た。初めての文通。ドキドキしながら、受験の悩みや高校でも野球を続けたいという話をつづった。文通は高校生になっても続いた。

そして1996年。

「私は今年なんと、アメリカに留学することになったのだ！ よかったらアメリカに手紙書いてねこれが最後の手紙になった。

米国に旅立つ2日前、順子さんは何者かに殺害された。駆けつけた通夜。棺の中の順子さん

は眠っているようだった。

あれから28年。事件のニュースに触れる度に思う。「優しくかった順子さんがなぜ殺されなければならなかったのか」

斎藤拓也さん(45)も順子さんの授業を受けた1人だ。「順子って呼んで」

優しく接してくれたが、照れくさくてなかなか呼べなかった。

昨年、自宅を整理していると、1本のカセットテープが出てきた。

「トップ・オブ・ザ・ワールド」

みんなと授業で歌った歌。繰り返し聞いて覚えられるようにと、順子さんがプレゼントしてくれたものだ。

大学卒業後、地元のテレビ局に就職し、報道記者になった。順子さんもジャーナリストを目指していたことは、就職してから知った。記者として、北朝鮮による拉致事件の被害者家族を取材してきた。家族が一様におそれるのが、事件の風化だ。「解決しない限り関係者は苦しみ続ける。順子さんに関わった人たちの気持ちが犯人に届き、自首する日が来てほしい」

◇

上智大4年の小林順子さん(当時21)が殺害された事件は9日で未解決のまま28年。順子さんはサークル活動で、新潟で中学生に英語を教えるボランティアをしていた。当時の教え子たちは、今も順子さんの明るい人柄をしのび、事件の風化を懸念する。(遠藤美波)

■事件現場の模型、公開

警視庁は3日、3Dプリンターを使って作った自宅の模型を報道陣に公開した。模型では、順子さんが倒れていた畳の和室などが細かく再現されている。

事件は1996年9月9日夕に発生。順子さんは首を刃物で刺されて殺害され、自宅が放火された。容疑者は特定されていない。事件前には黄土色のコートを着た身長150~160センチの不審な男が周辺で目撃されている。同庁はこれまで捜査員延べ11万8千人を投入し、8月27日時点での情報提供は計1734件。今年は17件だった。解決につながる情報提供には最大800万円が支払われる。情報は亀有署捜査本部(03・3607・0110)